

『大腸がん治療に関する診療動向調査』について

ガイドライン委員会では、大腸がん診療の均てん化(底上げ)ならびに大腸がん患者さんの治療成績の向上を目的に、その第一段階として『大腸癌治療ガイドライン』の作成・普及に努めて参りました。しかし、実際に実地臨床においてどのような診療が行われているか、ガイドラインの刊行に伴い診療の内容が変化しているかについては、把握・検証が行われていないのが現状です。

そこでこのたび、大腸癌研究会の会員施設を対象に、診療内容に関する調査を実施することといたしました。

● 調査の方法

調査を行う施設：大腸癌研究会に参加するすべての施設(医療機関)

対象となる患者さん：2003年1月～2011年12月に、上記の施設で治療を受けた大腸SM癌の患者さん

調査項目：治療法別にみた年毎のSM癌治療件数、各施設におけるSM癌の根治基準、深達度診断基準、ESDの施行状況、SM癌の経過観察方法、外科手術拒否例への対応、非一括切除症例への対応、ガイドライン指針外症例への対応

日本全国の医療機関から集められたこれらの情報を分析し、

1. 本邦の実地臨床における大腸SM癌の治療状況
 2. 診療動向に対するガイドラインの影響
- など、日本の大腸がん治療の実際の動向を把握することができます。

この調査結果は、今後標準治療のさらなる普及を進めるにあたり大変役立つ情報となります。

● 調査の対象となる患者さんへ

1. この調査で集められるデータは、カルテ等 あなたが治療を受けた医療機関にすでに 存在する情報のみを使用します。この調査により新たな検査や負担は発生しません。
2. 事務局に集められた情報から、あなた個人が特定されることはありません。
3. この研究の結果は、学術雑誌や学会にて発表し、大腸がん診療の進歩に役立てていくこととなりますが、公表する際にも個人情報を使用されることはありません。
4. この調査は「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して行います。大腸癌研究会の倫理委員会において、この調査の対象となった方の不利益にならないことや医学の発展に役立つ情報が得られることが確認され、承認を受けています。

●お問い合わせ先

この調査は、大腸癌研究会ガイドライン委員会（委員長：東京大学 渡邊聡明）が研究事務局を担当しています。

調査実施担当：内視鏡領域担当グループ

調査実施責任者：田中信治（広島大学病院 内視鏡診療科）

実務担当：卜部祐司（広島大学病院 消化器・代謝内科）

調査実施分担者：五十嵐正広（がん研有明病院 内視鏡診療部）

斎藤 豊（国立がん研究センター中央病院 内視鏡センター）

調査データは、個人を特定する情報をいっさい含まない形で、研究事務局に集められます。なお、回答に際して、本研究成果の所有権は大腸癌研究会であることをご理解下さい。また、この調査成果は、学会発表を行うとともに何らかの形で論文化する予定です。



お問い合わせ先

大腸癌研究会事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル

電話 03-3263-8697 FAX 03-3263-8693 E-Mail: jscqr@secretariat.ne.jp